



東谷山通信



鹿児島市立東谷山小学校 令和4年10月3日発行 男子434人 女子386人 計820人
〒891-0112鹿児島市魚見町124-1<Tel>099-268-5141<Fax>268-5142<Mail>s61-hitani@keinet.com

全国学力・学習状況調査の結果について

校長 鶴 潔

本年度4月19日に、全国の小学校6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の本校の結果概要をお知らせいたします。

この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図るとともに、学校における学習指導に役立てることを目的としております。本校においても、その目的が達成できるように、教育課程や授業の改善に生かしていきたいと思っております。

なお、この結果については、本校の6年生を対象に、国語・算数・理科の3教科のみの実施であることから、必ずしも本校全体の教育活動の結果を表すものではないことを申し添えます。

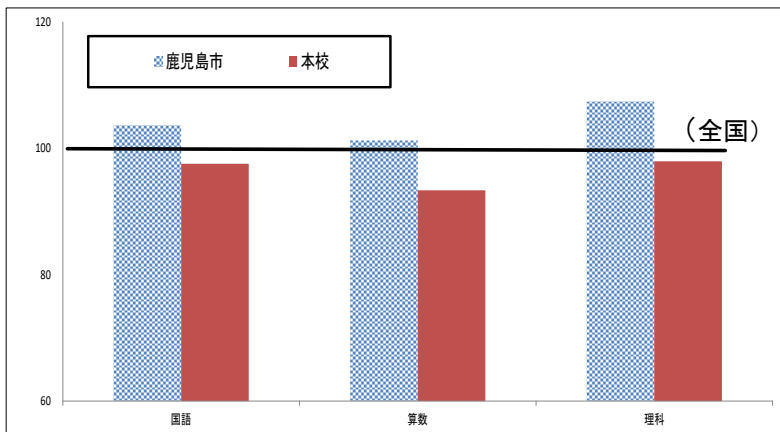
今後とも、本校の教育活動に、ご理解・ご支援をいただきますように、よろしくお願いいたします。

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

国語、算数、理科ともに全国・鹿児島市の平均をやや下回るという結果でした。授業や家庭学習の課題を明確にし、改善していきます。

2 自校の課題に対する改善策

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



<国 語>

文脈を捉えて漢字を書く問題の正答率は高い傾向にありますが、「書くこと」領域の問題や記述式の問題の正答率が低く、特に、条件に合わせて文章で表現する力が弱いことが分かりました。また、「読むこと」領域で、登場人物互いの関係について、描写をもとに捉える力が弱いことも分かりました。そこで、様々な機会をとらえ、要約文や条件に基づいた文章にまとめる学習を充実させていきます。また、継続的に「本読み」や読書に取り組ませ、理解につながる読みの力をつけていきます。

<算 数>

「2つの数の最小公倍数を求める問題」「割合」「比例」「表やグラフの読み取り」「図形」に課題があることが分かりまし

た。そこで、基礎・基本的事項の定着のために「分かる授業の実践」と「繰り返しや反復学習」で理解を確実にしていきます。思考力・表現力の育成のためには、授業の中で、記述する活動や知識や技能を活用する場面、自分の考えを説明する場面を意図的に設定していきます。また、「かごしま学力向上Web問題」など、発展的な問題に多く取り組ませることで理解した知識・技能を活用させる力を高めていきます。

<理 科>

実験器具の名前や科学的な言葉や概念の理解については全国平均を上回っていましたが、実験や観察で得た結果を分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題が見られました。そこで、課題把握の過程を大切に、理科の見方・考え方を働かせながら、目的に応じて情報を比較・分析・整理したり、他者と意見交換しながら自分の考えを深めていったりする学習場面を設定していきます。

<全体的に>

児童質問紙の結果から、自分の考えを表現することに苦手意識をもっている子どもが多いことが分かりました。様々な表現の仕方を教えるとともに、グループ活動などで経験を積ませるようにし、主体的に思考を深めたり広げたり、基礎的・基本的な内容を習熟するために、タブレットの活用も図っていきたくております。読書量やメディア使用時間についても全国平均に対して課題があることが分かりましたので、学校と家庭で連携を図りながら改善に努めていきます。

一方で、人が困っているときは進んで助ける行動ができる子ども、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもが多いことが分かりました。今後は、さらに子どものよさを認める言葉がけを行い、自己肯定感を高めていきたいと思っております。

<ご家庭へのお願い>

☆ 学力向上の基盤となるものは、基本的な生活リズムの確立です。そのために「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底をお願いします。また、家庭学習の声かけや励まし、翌日の準備の見届け(忘れ物をしない)、メディア使用時間の制限(家の約束を守らせる)などもお願いします。

☆ 読解力や思考力向上のためには、読書が必要です。御家庭で本や新聞などを読む時間を設けてください。読んだ本の感想を聞いてみたり、親子で読書したりするのも効果があります。